2022年(令和4年)11月1日発行

考える会通信　31号

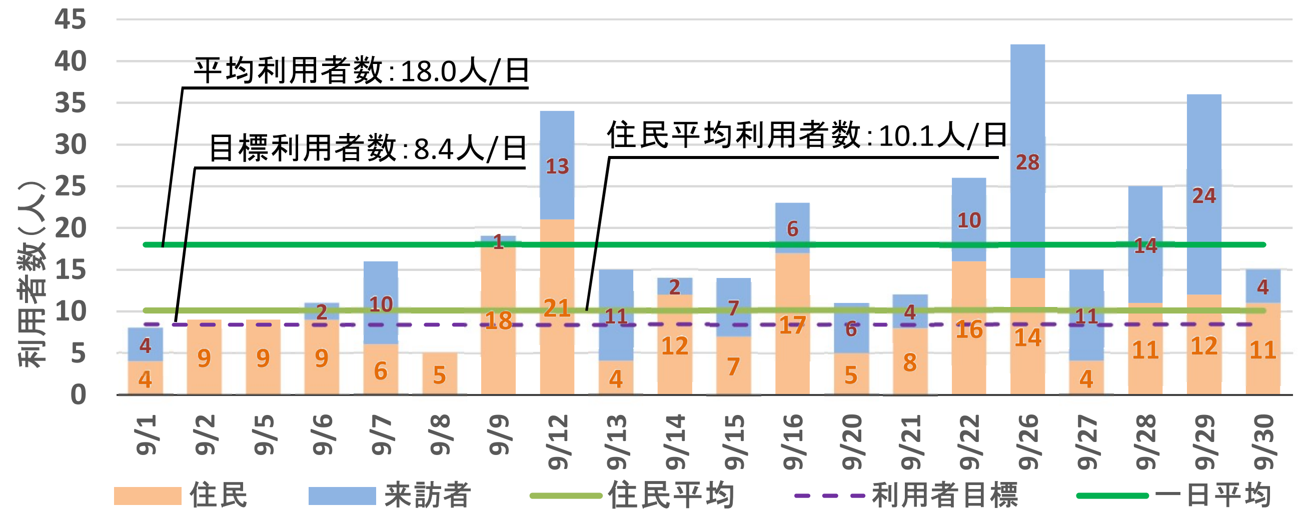
ぐるりんあきうのご予約は、(有)秋保交通(ぐるりんあきうセンター)まで

ぐるりんあきう専用ダイヤル　022-393-5912

※はじめに「ぐるりん号の予約です」とお伝えください。

ぐるりんあきう利用者数（住民・来訪者別）の推移

- 9月の住民1日あたり平均利用者数は10.1人と安定した利用が見られた。
- 9月の1日当たり平均利用者数は18.0人と、9月の１日当たり目標利用者数8.4人を上回った。



いってみっぺ秋保を利用して　ぐるりんあきうを利用頂きたい

秋保地区の交通を考える会　監査　大滝　周広

皆さん、ぐるりんあきうを体験いただきましたか。私はやっと先日体験しました。

それはお昼の時間が空いた日です。急遽ぐるりんあきうで秋保ヴィレッジに行くことにしました。早速電話を入れ、十一時に『大滝れすとはうす前』と予約しました。帰りも十三時半に『秋保ヴィレッジ発』と予約。時間通り出発、途中誰も乗らず、秋保ヴィレッジに十五分位で到着し、一人ではもったいないと思いました。

買い物をして、お昼も食べて、まだ出発まで時間に余裕があったので、秋保ヴィレッジの公園をゆったり散歩。コスモスが咲き誇り、他にもいろんな花が咲いていました。帰りは、佐勘さんまでお二人と乗り合い、その後は秋保大滝れすとはうすまで、利用者は私一人でした。この度は運転せずに秋保を往復しましたがとても楽をさせて頂きました。

皆さん、どうでしょうか、ぐるりんあきうで『いってみっぺ秋保』を参考に秋保を散策すると新しい発見があるのではないでしょうか。足腰にもいいですね。考える会ではまだ試行錯誤ですが、よりよい秋保の交通を考えています。また、愛子方面への運行も思案中です。問題解決にいろいろ奮闘しております。どうぞ皆さんに利用いただき、また、秋保の交通のためにご協力をお願いいたします。

★☆「考える会通信」は、町内会の協力をいただき、秋保町内にお住まいの皆様へ配布させていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

宮城交通

秋保・里センターから長町南駅・太白区役所前へ出発する時刻表

6:57	7:57	9:09	*9:58*	10:57	11:59
13:02	14:03	15:57	*16:56*	18:01	*19:23*

※*斜体*は長町駅東口が終点、他は県庁市役所前が終点

長町南駅・太白区役所前から里センターへ出発する時刻表

7:20	8:03	8:23	9:23	10:23	11:02
13:02	13:51	15:02	16:02	16:40	18:02
21:00					

※*斜体*は秋保中学校が終点、他は森林スポーツ公園が終点

※秋保・里センターから長町南駅間の所要時間は概ね35分

タケヤ交通

秋保・里センターから仙台駅前へ出発する時刻表

6:52	8:19	9:25	10:25	11:25	12:19
13:19	14:25	15:25	16:19	17:19	18:16
19:16					

仙台駅前から里センターへ出発する時刻表

8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30
14:30	15:30	16:30	17:30	18:30	19:30
20:30	21:50				

※秋保・里センターから仙台駅間の所要時間は概ね35分

市営バス

秋保・里センターから愛子駅へ出発する時刻表

6:40	9:18	9:42	10:53	14:07	15:17
16:02	18:54				

愛子駅から里センターへ出発する時刻表

8:17	9:05	13:18	17:17	18:18	19:23
20:12					

※*斜体*は上ノ原が終点、他は野尻町北が終点

※秋保・里センターから愛子駅間の所要時間は概ね15分

10月の代表者会レポート

10月19日に代表者会を開催しました。会議では、愛子延伸に向けた第一歩となる試験運行の具体の計画について議論を行いました。

◎愛子延伸について

「まずはやってみて、実態や課題を把握し、今後につなげること」が重要として、試験運行の運行計画について、計画の大筋を議論し、固めました。年度内に試験運行を実施するためには、短い期間内に様々な調整が必要となるため、詳細は役員一任のもと進めていくことにしました。

◎その他

乗降の際の車両段差についてや、広報誌に関する課題提起がありましたので、改善策を検討していくことにしました。

代表者会の様子

「魅力いっぱい！交通フェスタ2022」に参加して

秋保地区の交通を考える会　会長　及川　純一

秋暑し、仙台市役所の前庭で、3年ぶりの「交通フェスタ」が開催され、予想を大きく上回る約3千人の方が来場しました。

秋保地区からは、秋保交通の青野社長と私が参加。市職員の皆さんとおそろいの地域交通Tシャツを着用し、ぐるりんあきうの紹介をはじめ、回数券販売、お子様連れにはミニトレイン乗車用のシール貼りのおもてなしをしました。

親子連れの方がブース内で特に賑わいを見せていたのは、各地域交通キャラクターの間違い探しや顔だしパネルでした。また、各地区の地域交通の紹介パネルを熱心に見てくださる方がいらっしゃったりと、地域交通をたくさんの方に紹介できたと実感しております。

公共交通は市民の大事な足ですが、少子高齢化が進み、人口の変化が著しい。そうした課題解決のために「みんなで育てる地域交通乗り乗り事業」を活用した事業が市内各地で展開されています。我が秋保地区も、地元の合意形成を図りながら、これに便乗し、やっと公共交通の仲間入りを果たし、まだ課題が残っているものの、地元でも存在が確かなものになっていると感慨深く思いながら帰路につきました。

地域交通推進課ブース

回数券販売

各地区の説明パネル

■発　　行：秋保地区の交通を考える会　会長　及川 純一　　電話 022-399-2133
■支援機関：仙台市　都市整備局　地域交通推進課　　電話 022-214-8495